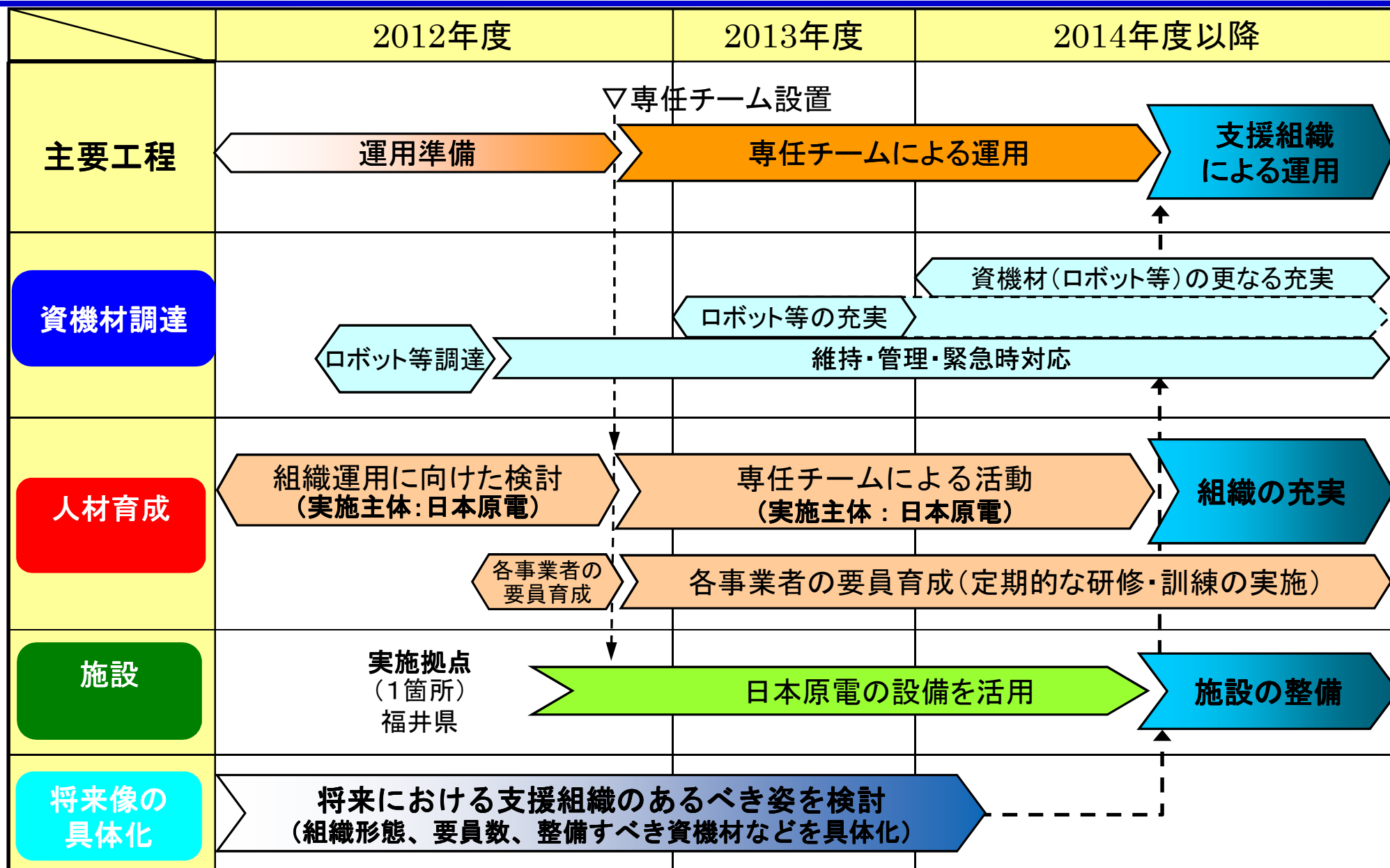


「原子力緊急事態支援組織」整備計画スケジュール



「原子力緊急事態支援組織」の概要

福島第一原子力発電所事故を踏まえ、高放射線量下など多様かつ高度な災害にも対応可能な世界最高水準の災害対応組織を現在検討している

●役割

- ①緊急時に迅速に展開し、多様かつ高度な災害対応を実施することにより、事故発生事業者を支援
- ②ロボット等資機材について、維持管理と関係機関と連携した継続的改善・充実化を実施。また、計画的に要員を育成

●組織（海外の先行事例を参考）

拠 点 全国で1～2カ所程度（福井県ほか）

要員数 20名程度

施 設 事務所兼研修棟、資機材庫、改良・実証施設、訓練フィールド

資機材 偵察用ロボット、放射線測定用ロボット（地上、空中）、除染用ロボット、遠隔操作重機（がれき撤去等）、現地指揮車両、資機材輸送車両 等

- 設置時期 電力業界全体で支援組織のあるべき姿（組織形態、要員数、整備すべき資機材など）を具体化し、2015年度中に設置